

CCCEサイクル

幾代 瀬口 永井 森谷 矢後

目次

CCCEサイクル

提案の背景

CCCEサイクルの具体的内容

ソーシャルインパクトと
スモールアクション

アクションプランの持続可能性

寄与するSDGs

まとめ

提案の背景

- 焼却炉の数

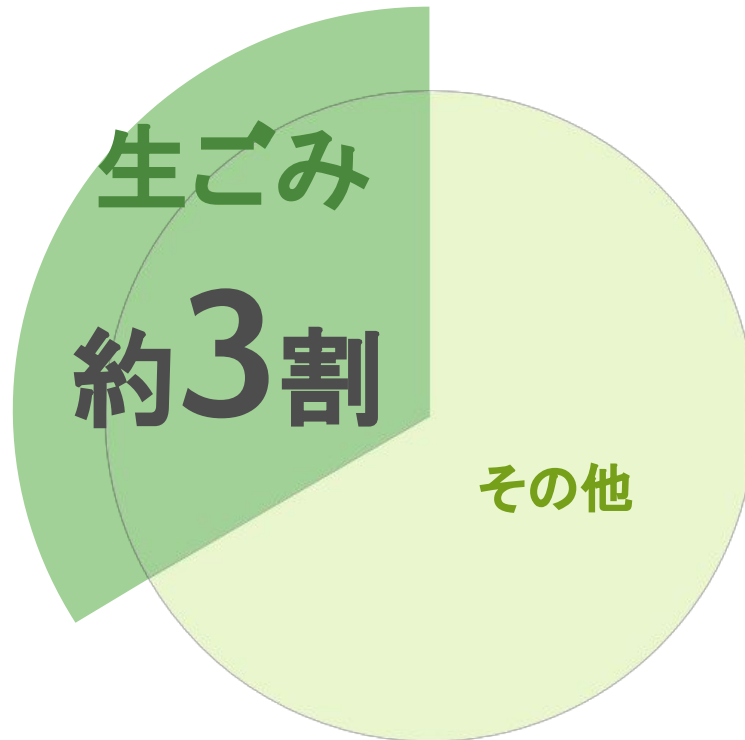
168  100 

1893か所

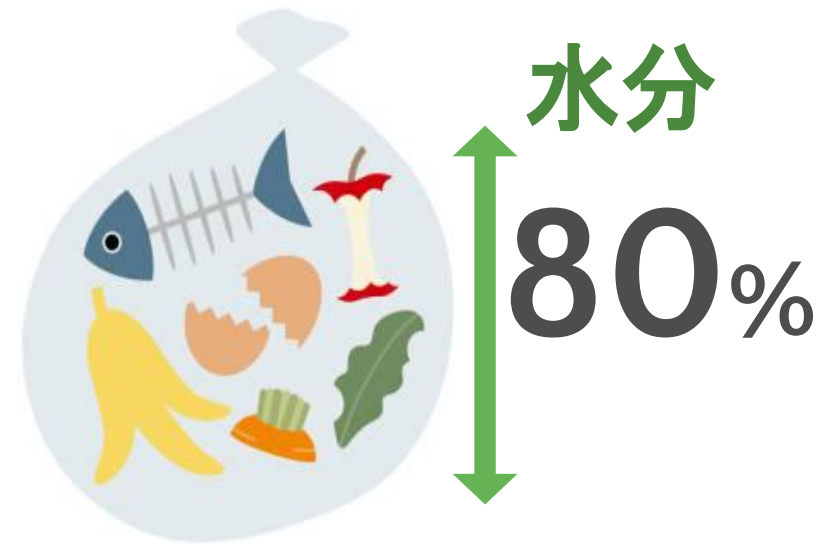
- 廃棄物焼却によるCO2排出量

3100万t

- 一般廃棄物に占める生ごみ



- 生ごみが含む水分量



提案の背景

- 焼却炉の数



1893か所

生ごみのCO2排出に注目

- 廃棄物焼却による

CO2排出量

3100万t

- 一般廃棄物に占める生ごみ

生ごみ
約3割

その他

- 生ごみが含む水分量

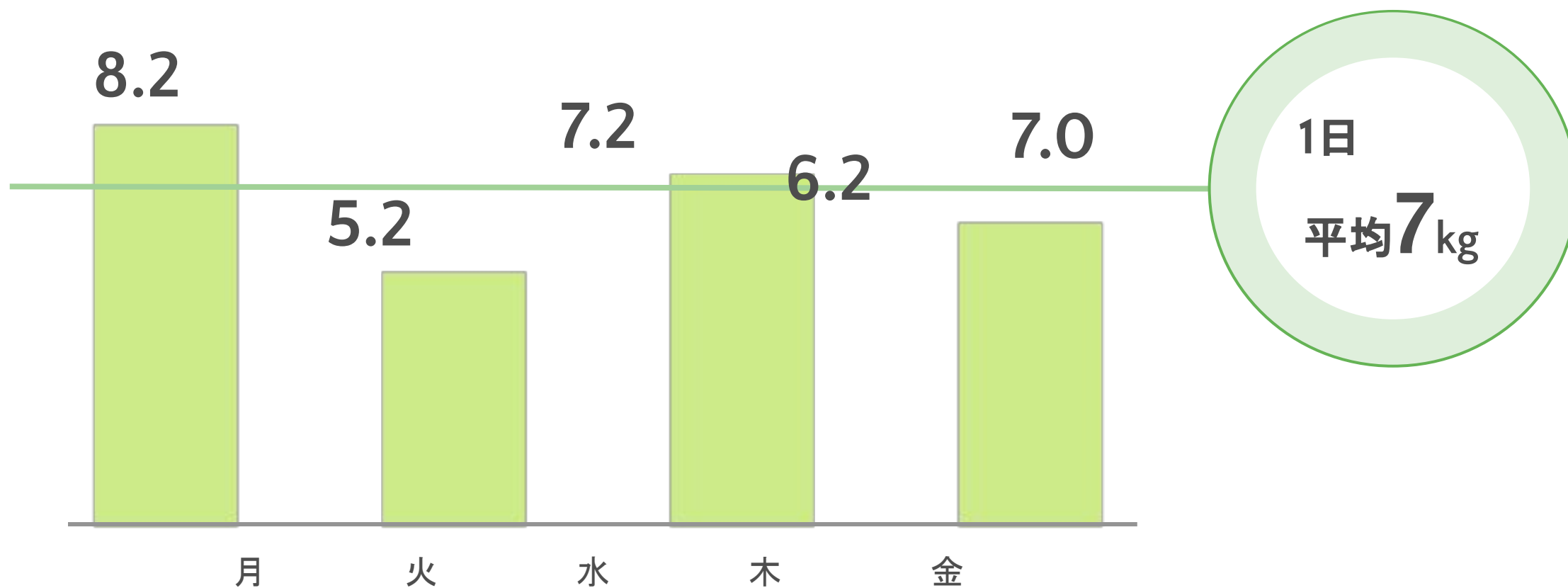
水分

80%



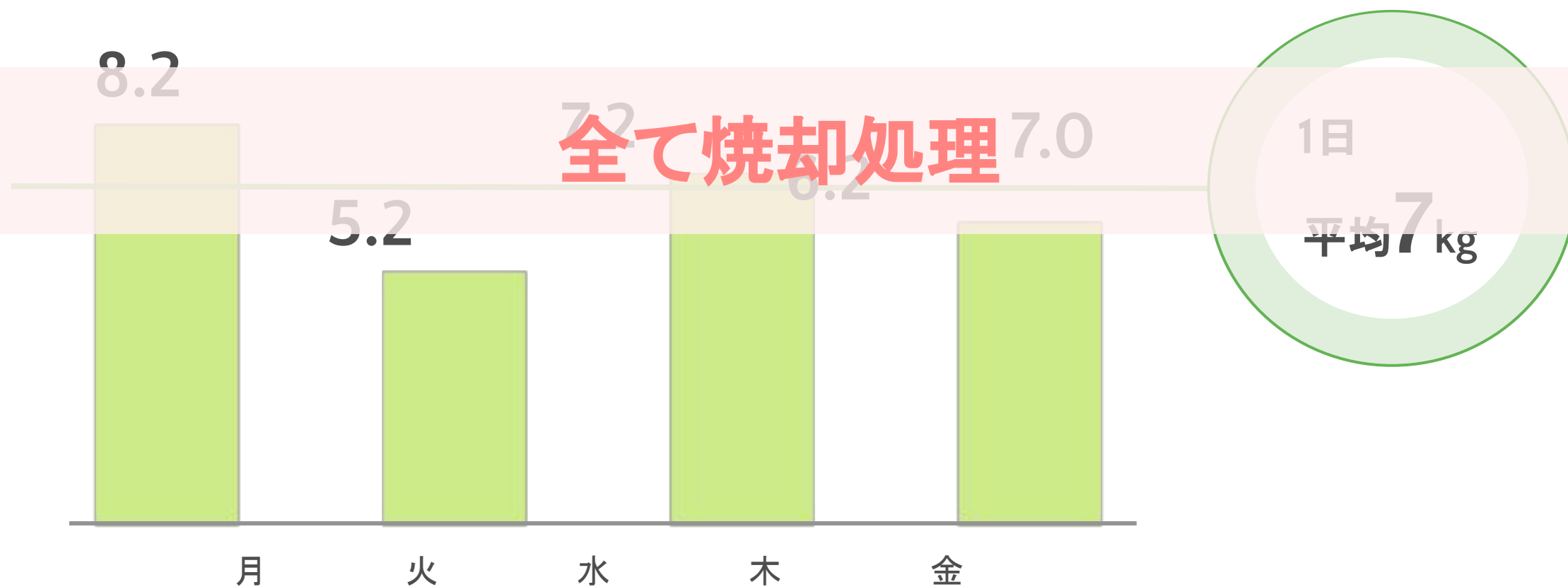
提案の背景

●1日の生ごみ廃棄量

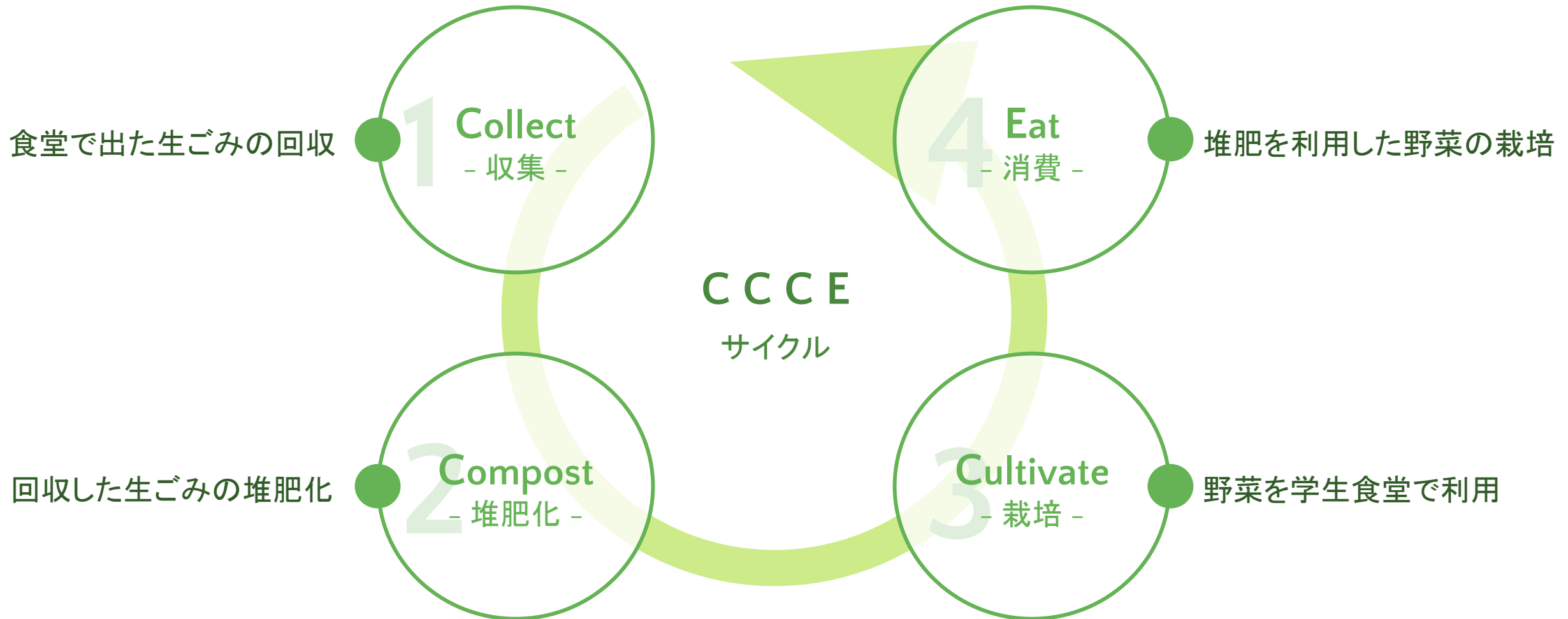


提案の背景

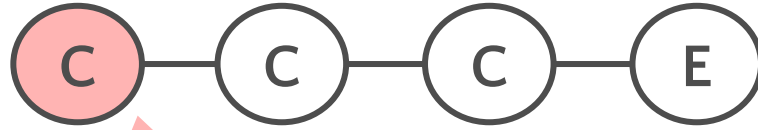
●1日の生ごみ廃棄量



CCCEサイクル



CCCEサイクル

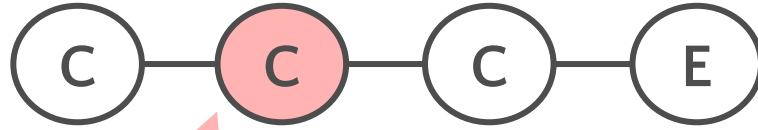


Collect - 収集

「食堂で出た生ごみを回収」

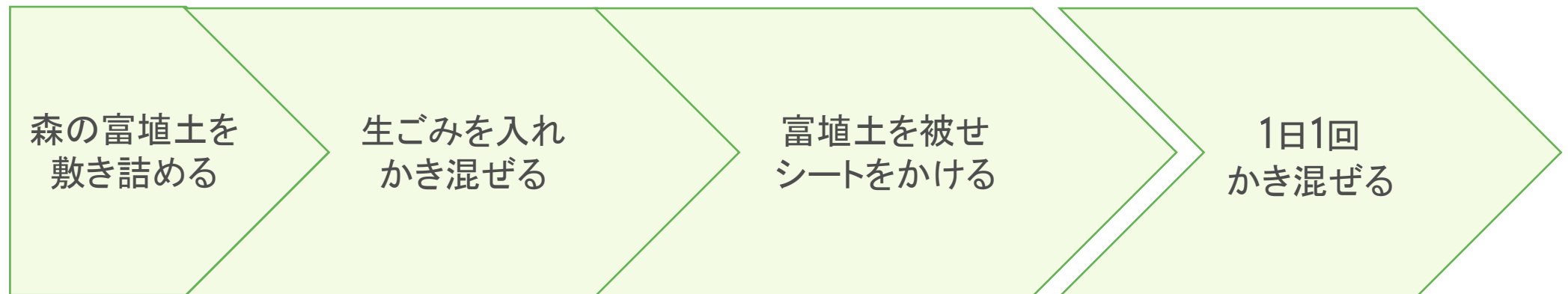


CCCEサイクル



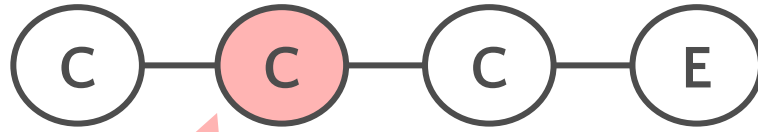
Compost - 堆肥化

「回収した生ごみの堆肥化」



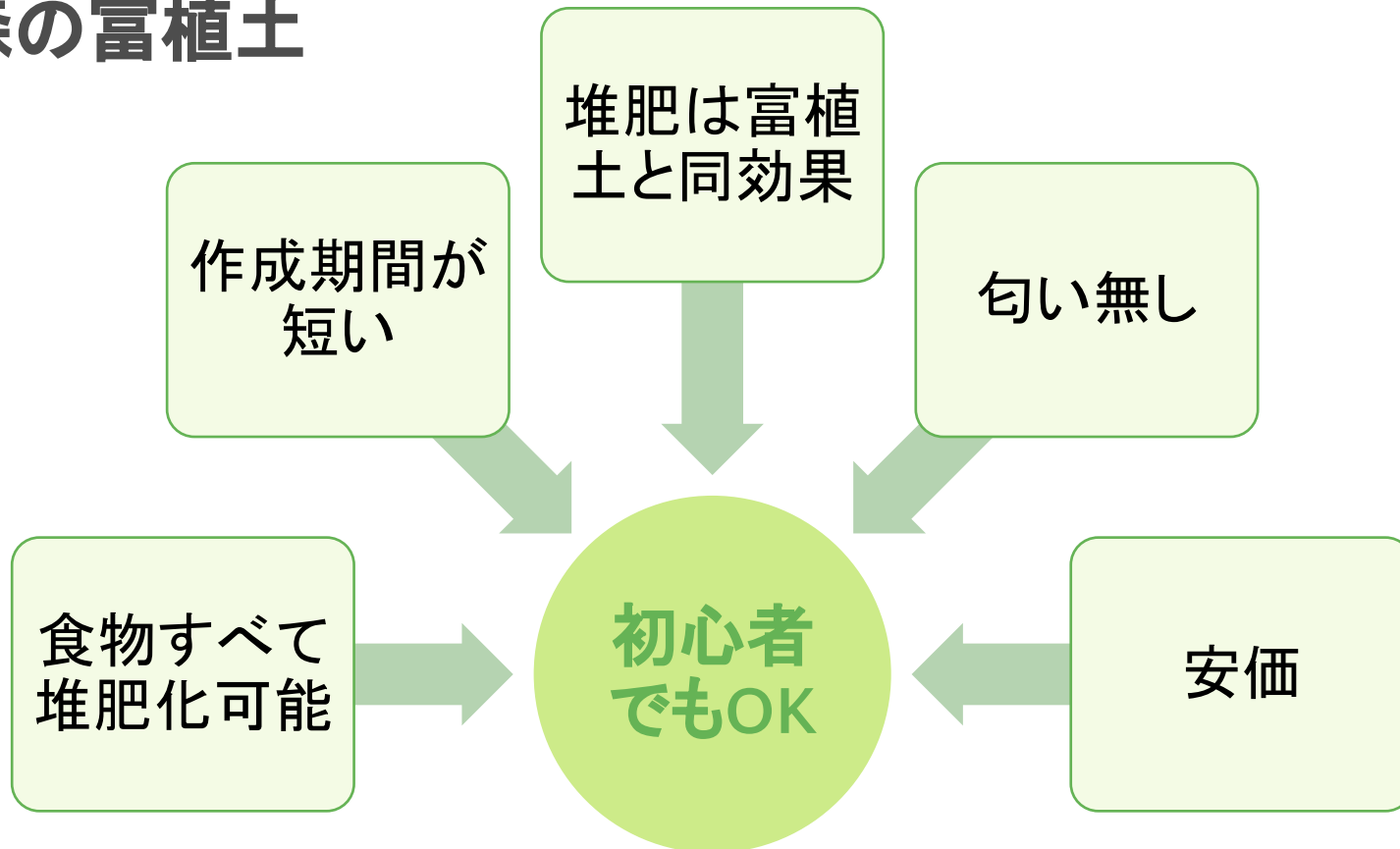
2週間で堆肥化可能

CCCEサイクル

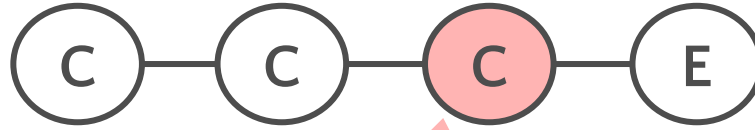


Compost - 堆肥化

森の富植土



CCCEサイクル



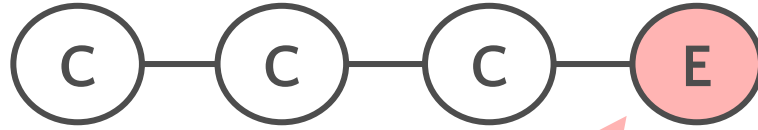
Cultivate - 栽培

「堆肥を利用した野菜の栽培」

ニラ・バジル・しそなど
比較的栽培しやすい野菜

玉ねぎを中心とした
消費量の多い野菜

CCCEサイクル



Eat - 消費

「野菜を学生食堂で利用」



ソーシャルインパクト

1

焼却される生ごみ
の
削減

▲
社会全体での普及
(他大学, オフィス, 給食センター)

2

食べ残し
の
削減

▲
食品ロスの現状理解
(1年で612万tの食料廃棄)

3

人と人の繋がり
の
創生

▲
人との関わり増加
(学生同士, 食堂の方々, 地域の方々)

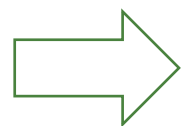
スモールアクション

自宅の生ごみ堆肥化

実際に、10kgの堆肥化に成功！

悪臭問題○

虫問題○



手軽にできるスモールアクション！



堆肥作りキット

アクションプランの持続性

堆肥の配布

- ・ 無料配布で、家庭での堆肥作りに挑戦する機会を
→より強い影響力に...!
- ・ 材料費にあてるため、安価での販売も検討

植物由来の 弁当容器導入

- ・ 食堂やキッチンカーのプラスチック製容器の代替
- ・ 容器ごと堆肥化可能
→プラスチック削減
- ・ 飲食店にも容器導入
→地域全体で...!

サークルの立ち上げ

- ・ サークル内で堆肥作りや野菜栽培を行う
→効率的&長期的に行える
- ・ ポスター掲示やSNS広報
→人員確保

寄与するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



まとめ

ごみ焼却時の二酸化炭素排出に注目

